

2023 ズバリ! 的中



世界史

同志社大学

古代東アジア世界に関する空欄補充がズバリ的中

入試問題

2月8日実施 学部個別日程
〔Ⅱ〕設問1、設問2、設問3

〔Ⅱ〕 次の文を読んで、以下の設問1～3に答えなさい。(50点)

紀元前4世紀頃、中国の影響を受けたベトナム北部では、独特の青銅器を生んだ(a)文化が発展した。インドや中国との交流のなか、1世紀末頃には扶南が(あ)川下流域に建国された。この国は東南アジア最古の国家ともされ、インドからバラモンが来航し、土地の女性と結ばれ建国したという神話をもつ。東南アジアで港市国家が発展すると、そこへもインドからバラモンが渡来し、彼らが(b)語や(b)文字、仏教・ヒンドゥー教などのインド文化をもたらした。

前2世紀に漢が日南郡を置いたベトナム中部では2世紀にチャム人の林邑が独立したが、この国は(イ)というインド風の名称で知られている。その後、カンボジア内陸から興った(ウ)人の真臘が7世紀に扶南を併合し、唐がベトナム北部に置いた安南都護府とも交易関係を結んだ。7世紀頃スマトラ島南東部のパレンバンを根拠地にシュリーヴィジャヤが台頭する。そのころマレー半島とスマトラ島に挟まれた(e)海峡が中国から海路でインドへ向かう幹線ルートとして発展した。海上交易を通じて、ジャワ島・マレー半島では、仏教の受容が進み、中国の求法僧(ロ)があらわした『南海寄帰内法伝』によれば、すでに671年頃、千人以上の仏教僧がシュリーヴィジャヤに住み、インドと同様の教義を学び、実践を行っていた。やがて仏教は東南アジアの大陸部にまで広がる。8世紀後半からシュリーヴィジャヤを支配したシャイレンドラ(シャイレンドラ)朝は、マレー半島、カンボジア、(イ)に進出し、さらに安南都護府を陥落させた。ジャワ島では8世紀後半に仏教国のシャイレンドラ朝が優勢となったが、9世紀なかば、ヒンドゥー教国家のマトラム朝(古マトラム)がシャイレンドラ朝をジャワ島から追い、10世紀にはジャワ島東部にも支配をひろげた。ビルマ中央平原ではビューが衰退したのち、11世紀にビルマ人が(d)朝を立てた。960年に宋(北宋)が成立すると、東南アジアの国々からの使者が宋の都の(e)に貢物を持ってくるようになった。

東南アジアには、これらの王朝の宗教的建造物が残され、世界遺産として登録されている。そこにはインド文化の影響も見られる。例えばベトナム中部のミー

河合塾

大学受験科 基礎シリーズ
世界史 演習
第3講 3【1】、【2】

第3講

③ 東南アジア世界(ベトナムを含む)

【1】 東南アジア世界の形成

東南アジアでは、中国の青銅器文化の影響で、銅鏡などの青銅器や鉄製農具を生んだ(1)文化が、前5世紀頃からベトナム北部を中心に発展した。沿岸航路による海上交易が発展すると、東南アジアの沿海部には、1世紀から2世紀にかけて多数の港市国家が生まれた。メコン川下流域には(2)が、インドシナ半島東南部にチャム人の(3)が、相ついで建国され、インド洋と南シナ海の中継交易で繁栄した。(2)の港オケオの遺跡からは、ローマ貨幣やインドの神像が出土し、交易ネットワークの広がりを示している。(3)は中国では林邑、のちに占城と呼ばれた。

【2】 東南アジア諸国家の再編成

4世紀末から5世紀に入ると、東南アジアの広い地域で、「インド化」と呼ばれる変化が生じ、各地でインドの影響が見られるようになった。6世紀には、ヒンドゥー教の影響のもとに、メコン川中流域にクメール人によって真臘(カンボジア)が興り、7世紀には(1)を滅ぼした。

7世紀に入り、マレー半島横断ルートに代わってマラッカ海峡が主要ルートになると、安南都護府の南に位置するチャンパーが、南シナ海交易を支配するようになった。

マラッカ海峡では、7世紀にスマトラ島のパレンバンを中心に(2)が成立した。そこには唐僧(3)がインドへの往復の途中滞り、著書『南海寄帰内法伝』で大乗仏教がさかんに行われていたことを記した。この王国は海上交易に積極的にたずさわり、唐にも使節を派遣した。中部ジャワでは、8世紀頃大乗仏教遺跡の(4)で知られるシャイレンドラ朝が成立した。しかし、その後、しだいにヒンドゥー教勢力が強くなっていった。

また、7世紀頃には東南アジアに南インドの稲作技術が伝わって稲作農業が発展し、内陸部に大規模な国家が建設されるにいたった。真臘は、8世紀に北の陸真臘と南の水真臘に分裂したが、9世紀に再統一されてアンコールに都をおくアンコール朝として知られるようになり、ヒンドゥー教寺院(のちに仏教寺院となる)の(5)をはじめとする寺院群と壮大な都を築いた。タイでは、チャオプラヤ(メナム)川下流域で、6世紀から11世紀にかけてモン人による(6)が東北タイなどの内陸部に勢力を拡大した。ミャンマー(ビルマ)では、9世紀までイラワディ川下流域の諸都市が連合して建設した(7)があった。

アンコール朝による大陸内部の交易ルートの形成は、チャオプラヤ・サルウィン両川流域で稲作農業を営んでいたタイ人の活動を活性化させた。13世紀半ば、タイ人はタイ中部で(8)朝を、14世紀半ばにはチャオプラヤ川流域で(9)朝を建国し、15世紀にはほぼ現在のタイにあたる地域の統合に成功した。

ソン聖域には (い) のヒンドゥー教神殿が数多く残されている。11世紀初めに現在のベトナムの首都ハノイにあたる昇竜(タンロン)を都として成立した (f) 朝の王は唐の皇帝と同じ姓であり、都の遺跡からは唐の駐屯軍に関わる遺物が出土している。ジャワ島中部のボロブドゥール寺院は回廊にびっしりと施された浮彫が有名であり、ブランバナン寺院群は高さ47mのシヴァ神殿などで知られる。カンボジアのアンコール・ワットはヒンドゥー教・仏教の要素をもつ。ビルマの (d) 朝の都が置かれていた地域にも多数の仏寺や仏塔が残されている。

中国・南宋の時代には、宮廷が置かれた (g) や、海港の泉州などが海上貿易の拠点として発展し、それらの都市には貿易を司る (お) が置かれた。13世紀になると、ビルマではモンゴル帝国の遠征の後 (d) 朝が減んだ。ベトナムではこの頃 (h) 朝が成立しており、一時はモンゴル軍の遠征軍を撃退し、民族意識を高め、独自の文字である (i) が作られた。13世紀末にモンゴル軍の遠征を受けたジャワではシンガサリ朝にかわり (j) 朝(王国)が成立した。

設問1 文中の (a) ~ (j) に入る最も適当な語句を以下の語群から選び、番号を解答欄II-Aに記入しなさい。

【語群】

- | | | | |
|---------------|-----------------|---------------|-------|
| 1. アユタヤ | 2. ウルドゥー | 3. 開封(汴京) | 4. クダ |
| 5. クディリ | 6. クレタ | 7. 訓民正音 | 8. 阮 |
| 9. 慶州 | 10. 杭州(臨安) | 11. コンバウン | |
| 12. サンスクリット | 13. スコータイ | | |
| 14. 西山(タイソン) | 15. タミル | 16. 大興城 | |
| 17. 中山 | 18. チュノム(チューノム) | 19. 長安 | |
| 20. 陳 | 21. ドイモイ | 22. ドヴァーラヴァティ | |
| 23. ドンソン | 24. 南詔 | 25. バガン | |
| 26. バクバ(パスバ) | 27. バンテン | 28. ベゲー | |
| 29. マジャパヒト | 30. マヤ | 31. マラッカ | |
| 32. マルク(モルッカ) | 33. 明州(寧波) | 34. モロッコ | |
| 35. 楊 | 36. 揚州 | 37. 洛陽 | 38. 李 |
| 39. 劉 | 40. ワヤン(ワヤン=クリ) | | |

設問2 文中の (あ) ~ (お) に入る最も適当な語句を解答欄II-Bに記入しなさい。

設問3 下線部①~⑤に関連する次の記述(a)(b)について、(a)(b)ともに正しい場合は数字1、(a)のみ正しい場合は数字2、(b)のみ正しい場合は数字3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字4を、解答欄II-Cに記入しなさい。

①海上交易

- (a) 宋代には中国商人はジャンク船で海上貿易へ乗り出していた。
- (b) ムスリム商人は、ダウ船を使ってインド洋を航海した。

②仏教

- (a) 中国では漢(前漢)の時代に浄土宗・禅宗が成立した。
- (b) 中国では唐の時代に雲崗・竜門など仏教石窟が開かれた。

③ベトナム

- (a) 阿倍仲麻呂は安南節度使に登用された。
- (b) ベトナムでは明の支配から独立して黎朝が建てられた。

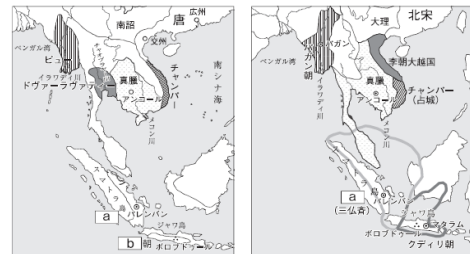
④ボロブドゥール寺院

- (a) シャイレンドラ(シャイレンドラ)朝のもとで、ボロブドゥール寺院が建造された。
- (b) ボロブドゥール寺院は仏教の遺跡である。

⑤アンコール・ワット

- (a) アンコール・ワットを築かせたのはインドからきた外来の王であった。
- (b) アンコール・ワットはもともとヒンドゥー教の寺院建築として建てられた。

ミャンマーでは、11世紀半ばビルマ人がイラワディ川中流域に (10) 朝を建てた。この王朝は雲南とベンガル湾を結ぶ交易で繁栄し、セイロン島との交流により (11) 仏教が広まった。しかし、13世紀末、元軍の侵攻とタイ系のシャン人の南下によって衰退した。一方、南部のモン人はベンガル湾沿岸部にベゲーなどの港市国家を建て、ベンガル湾交易に従事した。



7~8世紀頃の東南アジア
a ...スマトラ島南部を中心とした王国
b ...ジャワ島中部に建てられた王朝

11世紀の東南アジア